

第18回 室蘭市環境審議会 会議録

1. 日時

令和6年2月21日(水) 13:30～

2. 場所

室蘭市防災センター 3階 視聴覚研修室

3. 出席者

(1) 出席委員：中野委員 森田委員(代理戸部氏) 伊東委員 篠原委員
伊藤委員 菅原委員 西畑委員 星委員 山内委員
石田委員 榊原委員

(2) 欠席委員：永井委員

(3) 事務局：関川生活環境部長 北川環境課長 佐々木係長 青木主任 福田主事

4. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介、事務局挨拶
- (3) 会長、副会長選出
- (4) 「令和5年度版 室蘭市環境白書」について
- (5) 「室蘭市地球温暖化対策実行計画」について(情報提供)
- (6) その他
- (7) 閉会

5. 議事

(次第1～2省略)

次第3 会長、副会長選出

事務局

会長及び副会長は室蘭市環境審議会規則第3条により、互選による選出となる。委員の皆様にご意見を伺いたい。

A 委員

前回会長を務めていた中野先生に会長をお願いしてはどうか。

副会長には永井先生をお願いしてはどうか。

(意義なし)

事務局

委員の互選により中野先生に会長を永井先生には後日事務局から説明する。

以後の議事については中野先生にお願いする。

次第4 令和5年度版 「室蘭市環境白書」について

中野会長

次第4 令和5年度版「室蘭市環境白書」について事務局から説明をお願いする。

(事務局より説明)

中野会長

ただいまの説明について、質問・意見などがあれば発言いただきたい。

委員 B

市内の小中学校に太陽光発電設備を設置していると伺っている。

小中学校は避難所となっていると思うが、災害時にその電力を使用できるのか。

新聞で発電機を導入する記事を見たので、せっかくなのであれば活用してはどうか。

事務局

蓄電池を設置していないので太陽がでている間のみ多少使用できる程度と考える。

発電機等については防災と連携して考えていく。

委員 A

昭和49年に大気汚染防止法の政令市になっており状況としてはおおむね良好と報告をうけたが今後どのような扱いになるか教えていただきたい。

事務局

室蘭は工場も多いので、このまま政令市のままであると考える。

委員 A

室蘭市から政令市を続ける、やめる等の発議は必要ないということか。

事務局

その予定はない。

委員 B

- ・ 室蘭市の自然環境の保全について環境白書内では植樹という程度で他の自治体に比べると寂しい。
- ・ 地球岬には素晴らしい植生があるが半世紀近く植生調査が行われていない。
まずは現状の植生を調査して市が現状を把握しておかなければならないと考えるので、植生調査をやってもらいたい。
- ・ 絵鞆半島側にもエゾシカが生息しはじめている。
室蘭市として罾による駆除を行っていると聞いているが絵鞆半島側でも実施しているのか。
- ・ 市長が海洋ゴミの対策も必要だと言っていた。
海浸洞がイタンキにあり、そこに多くの海洋ゴミが溜まっている。
有志が清掃しているが限界がある。有志と市が協力していかなければゴミがなくならないと思う。
観光船も出ており絶景を楽しんでもらっているが、ゴミを見せるのはいかがかと思う。
船でなければとれないゴミもある。
- ・ 最後に野鳥の会の立場の意見で、室蘭は渡り鳥のルートとなっている。
室蘭を經由して駒ヶ岳方面に飛んでいく。このルート上に洋上風力が建設されると危険。
室蘭から駒ヶ岳へのルート上には作らないような配慮をしてもらいたい。

C 委員

先ほど星委員から植生の質問があったが、関連して室蘭市の植物によるCO2吸収量を知りたい。分かる範囲で排出量と吸収量を教えて欲しい。

事務局

排出量については2018年度で約77,000トである。

森林吸収量については室蘭市の森林面積が少ないこと、また管理された森林が必要となることから室蘭市では数字としては把握していない。

D 委員

街路灯の点灯時間について、夕方に散歩にでると点灯している箇所としていない箇所があり、ばらつきがある。点灯時間を統一すれば電気料金のコスト削減にもつながると考える。

事務局

街路灯は市で管理しているもの、北海道で管理しているもの、国や町内会で管理している物など場所により管理者が異なる。

点灯時間に差が生じているのは管理者による設定の差であると考えられる。

それぞれ管理者がことなる市内の街路灯と同時に点灯させるのは難しい。

D 委員

私は山に住んでおり場所によって点灯している。していない等差がある。

C 委員

町内会の街路灯設置に関わっており、私の知る限りでは街灯にはセンサーがついていて、感知の状態や経年劣化などでばらつきは出るものと存じている。

枝葉の茂り具合でも差が出ると伺っている。

点灯時間よりも使用される電力が何由来なのかという点を気にすべきではないか。

D 委員

水銀灯は早い時間に点灯しており、単純にタイマーを設置すればよいものかと思った。

事務局

町内会が管理している街灯のLED化補助事業があるので是非ご活用いただきたい。

E 委員

ゴミの排出量で目標が一人あたり479g、実績が551gと80g程度超過している。

削減に一番効果があるのは家庭からの生ゴミである。単純に人口で割ると1日あたり0.4gの効果になる。100人、200人と実行すれば80gの削減は容易。

市では生ゴミ処理機、コンポストの奨励を実施しており、効果はこれから出てくると思うので是非継続してもらいたい。

事務局

生ゴミ処理機の奨励は今年度も実施しており、次年度も予定している。

2万円が上限となっているが皆様も是非周知にご協力いただきたい。

地道に続けて少しでも生ゴミ由来のゴミの削減に繋げたい。

生ゴミはゴミ処理施設では熱効率を落とす要因となっている。

水分を絞って出すことでゴミの減少につながるのご協力願いたい。

次第5 「室蘭市地球温暖化対策実行計画」について（情報提供）

中野会長

次第5 「室蘭市地球温暖化対策実行計画」について事務局から説明をお願いします。

（事務局より説明）

中野会長

ただいまの説明について、質問・意見などがあれば発言いただきたい。

B 委員

どこの地域でも環境に対する取り組みがなされているが室蘭らしさでいうと海藻、ブルーカーボンの取り組みができるのではないかと。

日本製鉄の鉄鋼スラグを用いた磯焼け対策等でCO2吸収を後押しできればと考える。

事務局

ブルーカーボンについては港湾部の計画に記載している。

水産担当課でも計画しているところであり、予算化もしているところ。

E 委員

公共交通機関への転換と記載があるが、具体的なイメージはあるか。

事務局

白鳥台の相乗りタクシー事業等実施しているが、自家用車を手放すというところまでは考えにくい。

公共交通機関の維持も含めて考えたい。現状では良い具体的な事例はない。

F 委員

本日はじめて審議会に来たが高齢化のことも含めて短期、長期で検討いただきたい。

B 委員

市の施設で太陽光パネルを設置と書いていたが市の所有している土地では太陽光の計画はないのか。

他の自体では森林を伐採して太陽光設備を設置するなど本末転倒な事例も聞いている。

もし室蘭でも計画があるなら教えていただきたい。

事務局

現状ではないが、ご指摘のとおり風車の件もあるが、環境保全と促進のバランスをとりながら実施していきたい。

中野会長

他に質問がなければこれで終了とする。

事務局

貴重なご意見をいただいたので検討し、計画を推進していきたい。

本日はありがとうございました。

（終了）